

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** です！
京都市会議員

発行：2022年4月24日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

京都の地下に北陸新幹線はいらない！ 梶川氏大奮闘

2022京都府知事選挙で得票33.2%

4月10日に行われた京都府知事選挙は、「京都の地下水を守ろう」「大量の土砂をどこに持っていくのか。大岩山のような災害を2度と起こさないで」「京都市は財政破綻と言うのにどこにお金があるの」など、北陸新幹線延伸計画が知られるにつれ、有権者の方々から大きな反応が寄せられました。「北陸新幹線より敬老乗車証を守ってほしい」「北陸新幹線より子育て支援」「保育園の補助金カットはダメ」と暮らしに引き寄せての声の特徴でした。

北陸新幹線延伸計画と同時に植物園を守ろうとの声も多く出されて、争点の一つになりました。現職陣営はだんまりを押し通しましたが、梶川候補へ期待の声は日々広がりました。

4月11日の報告集会で日本共産党の渡辺委員長は「①大切な税金はムダな大型事業ではなく命と暮らしを守るために税金の使い方を問う選挙だった。②市民と野党の共闘をめぐる攻防の中での選挙戦だった。③ロシアによるウクライナ侵略と、これに乗じた9条改憲や「核共有」など、日本を「戦争する国」にしかねない危険な動きが強まるもとでの知事選でした。」と報告しました。

7月には参議院選挙があります。ここでも税金の使い方、北陸新幹線延伸計画を認めるのかどうか。地下水を守り環境を守るのかどうか問われます。引き続き頑張ります！



▲地下鉄醍醐駅前では、市民の皆さんが連日のプラスタ宣言をおこなった。
▼池田東小学校で行われた個人演説会には140人が参加。梶川候補の訴えに耳を傾けた。



地域の願い実現へ、みなさんと力あわせてしっかり動きます!!

議員日誌

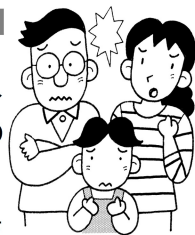
「200億円の増収をくらしに使える」予算の組み替え提案をしました 共産党市会議員団

今年度の予算案は、2021年度の補正予算と一体の予算との説明がありました。その2021年度の収入は予算よりも200億円も増える見込みとしています。この200億円の収入増を活用して、施策の充実を図ることが必要であるのに、わずか13億円を活用するだけで、残りの187億円は公債償還基金の積立（返済）に充てようとしています。しかし、基金への積立は、今すぐ積立額を増やす必要に迫られているわけではなく、計画的に行えばいいものです。187億円については、少なくとも今年度

予定している、25億円の市民負担増（国民健康保険料や敬老乗車証の負担金、138施設の利用料、証明書発行等の手数料の値上げなど）を中止すること、27億円の補助金カット（民間保育園職員の賃金を底上げするための補助金など）を中止すること、コロナ対策に全庁体制であたっている職員の削減（147人・12億円）を中止することに使うべきです。これらは64億円で行うことが可能です。この共産党議員団の提案は共産党以外の議員全てが反対しました。

市営住宅の家賃減免制度の見直しに悲鳴

京都市はこれまでの市営住宅の家賃減免制度は所得税法に準じて月額収入を計算していましたが、今年の4月からは、生活保護制度の基準生活費の計算を参考にするとしています。そして、減額率を「80%、60%、40%、20%」だったものを「70%、50%、30%、10%」にします。急に変更すれば影響が大きいので、今年から2025年まで段階的に見直します。しかし、「年金生活者は月に1千円2千円でも影響は大きい。その上年金は減り物価は上がる一方。何を削れと言うのか」と悲鳴が上がっています。この見直しで市民への負担増は約5億円と京都市は試算しています。ここでも税金の使い方が問われます。



困ったときは…
日本共産党の生活相談所へ
毎週月・水・金曜日
午前10時から午後5時
まずはお電話ください!!

☎621-6717